

なぜクラウドワークスは WEBライター検定に グリーゼの研修カリキュラムを選んだのか

5年間で1,000人以上が受検している、クラウドワークス提供の「WEBライター検定」。
このWEBライター検定は、グリーゼの企業向け社員研修カリキュラムを基にクラウドワークス
と共同で制作したものである。

なぜクラウドワークスはグリーゼの研修カリキュラムを選んだのだろうか？
今回はその理由を伺った。



田中 健士郎 氏

2015年株式会社クラウドワークスに参画、経営企画/地方創生マネージャーとして、これまでに30以上の自治体と連携し、クラウドソーシングの普及を促進。1200人以上のワーカー育成や行政・企業のクラウドソーシング活用支援に携わる。働き方エバンジェリスト。

梅澤 啓太 氏

2022年に株式会社クラウドワークスに参画。クラウドワークスではオンライン教育サービス「みんなのカレッジ」の運営担当として、15コース以上の教育プログラムを提供の他、ワーカーとのキャリア面談や自治体と連携したクラウドソーシング普及促進に携わる。

株式会社クラウドワークスは「個のためのインフラになる」という目標を掲げ、個人と企業のマッチング事業を展開しています。中でも最大の事業となっているのが、クラウドソーシングサービスを提供する「クラウドワークス」です。現在500万名以上のワーカーと、90万社以上の企業に活用いただいています。最も多いのがWebライティング案件で、最近では動画編集やAIに関する案件も増えています。

WEBライター検定とは



田中: WEBライター検定は、Webライティングのスキルレベルを測るための検定です。合格すると自分のスキルが明確になるだけでなく、クライアントにも自身のスキルレベルを示すことができ、案件獲得にもつながります。

梅澤: WEBライター検定は1級から3級まであり、1級と2級は有料で提供しています。3級は多くの方に受けても

らいたいという思いから、無料(2023年12月現在)で提供しており、日本語としての正しさやルールが理解できているかを選択形式で出題します。2級は短文を、1級は3,000文字程度の文章を書き上げる記述形式となり、より実践的なスキルを図れる内容となっています。

田中: 各検定には「みんなのカレッジ」という有料の事前学習講座があり、知識やスキルを学んだ後に検定に挑戦するという流れができています。講座はもともとグリーゼの研修カリキュラムをアレンジしたもので、Webライティングに必要な構成や文章表現などのスキルを学べる内容です。



WEBライター検定は「事前学習講座」とセットで受けることに意味がある

田中: WEBライター検定の合格者はクラウドワークスのサイト上で表示されるため、クライアントに対してスキルをアピールすることができます。

不合格の場合でも、1級と2級の添削はグリーゼにお願いし、単に合否を決めるだけでなく、具体的なフィードバックを入れているため、学びがあります。実際にフィードバックの内容を生かして勉強し、再度検定にチャレンジするという方も大勢います。

プロの添削を受け、それを基に学びなおすことができるのは、大きな価値だと考えています。

梅澤: 合格率自体は1級で約10%未満と低く、実は大変難しい検定です。独学でのチャレンジで合格することは、厳しいでしょう。

グリーゼの研修プログラムをアレンジした「事前学習講座」

を受け、学びを深めること自体に大きなメリットがあります。「WEBライター検定」と「事前学習講座」をセットで受けることが、Webライティング力アップにつながるのです。





必要だったのは、スキルの高いライター育成と客観的な評価制度

田中: Webライティング業界では、2016年頃、品質の低い記事が大量に出回ることが大きな社会問題になりました。それがきっかけで、Webライティング業界が健全化に向かったのです。記事の品質が求められるようになっていく中で、クラウドワークスとしても何かできないかと考えるようになりました。

また、当時のワーカーには実績ベースでの評価制度しか

なく、実績はないがスキルが高いライターが埋もれているという問題も抱えていました。実際にクライアントから「どのライターにスキルがあるかわからない」という声もいただきました。

そのような状況の中で、**スキルの高いライターの育成と客観的な評価制度を作るために**、WEBライター検定の導入を決めたのです。

ライティングの本質を捉えたグリーゼの研修

田中: WEBライター検定の導入を考えているときに、グリーゼの研修カリキュラムを選んだのは、グリーゼが「Webライティングの本質」を捉えていると感じたからです。

Web記事は社内の報告書などとは異なり、目的があり、意図をもって作られます。目的達成のためのペルソナ設計、読者に納得してもらうための構成や文章表現、目的につなげるためのクロージングなど、グリーゼは**Webライティングにおいて重要、かつ普遍的な内容を**教えていました。そこで、ライティングとマーケティングを同時に教えるグリーゼと一緒に検定を作成したいと思い、依頼したのです。グリーゼの研修カリキュラムは、もともと企業向けのカリ

キュラムだったため、細かい部分をカスタマイズしていく必要がありました。そのため、30回以上もやりとりを重ねました。グリーゼには最後の段階になっても改善を依頼するなど多くのお願いをしましたが、丁寧に対応していただき感謝しています。

そういった苦勞もあって、WEBライター検定はクラウドワークスとグリーゼが共に作りあげたものだと思っています。

梅澤: WEBライター検定は2018年に公開しました。反響は大きく、のべ**1,000人以上に受検**していただくなど、注目度も高いと感じています。

ワーカーのモチベーション向上を目指し「みんなのカレッジ」を立ち上げ

田中：WEBライター検定公開から2年後、「みんなのカレッジ」という学習サービスを立ち上げました。クラウドワークスに登録しても案件を得られない、スキル不足で挫折してしまうといった課題を解決するためです。以前、地方自治体向けに運営していたワーカー育成サービスをアレンジする形で作成しました。

梅澤：「みんなのカレッジ」はワーカーに学びと報酬を繋げることをミッションに掲げている、完全オンライン型の教

育サービスです。

個人で学ぶのではなく、コミュニティー型による学びの場を作っているのが特徴です。コースごとに、受講同期生限定のチャットグループを作成し、刺激を受けながら学習していただきます。

また、学習をサポートするファシリテーターやメンターを置き、受講生たちが安心して学習に取り組めるようにしました。

結果、受講生の7割以上が最後まで学習を完走しています。

4コースから17コースへと成長。のべ5,000人以上が受講

田中：2020年5月当初は、「WEBライターコース(初級・中級・上級)」と「案件獲得コース」の2講座4コースからスタートしました。WEBライターコースは、グリーゼとともに作成しました。卒業生からは「ライターとしてのスキルが上がった」「独学では得られない学びがあった」などの声が届いています。

スタート時はちょうどコロナ渦でオンラインでの学習や仕事の機会が広がったこともあり、社内でも想定していない

好スタートとなりました。

梅澤：その後もコースは増えていき、「取材ライティングコース」「セールスライティングコース」「SEOライティングコース」など、ライターの専門性を高めるものもできました。ライター向け以外にも、デザインや動画編集のコースなどが誕生し、現在では17コース、約5,000人以上が受講するサービスへと成長しています。



WEBライター検定はクラウドワークス内でも活用

田中:現在は、WEBライター検定を運営していく中で気づいた課題や、受検者からのフィードバックなどを踏まえてグリーゼと一緒にリニューアルを進めています。WEBライター検定の内容自体は普遍的なもので変更の予定はありませんが、時代に合わせて表現や例題などのブラッシュアップを行っています。

梅澤:3級はこれまで無料で受検できたため、気軽に受けて不合格となり、そのままライター業を挫折するという方もいました。実は3級といえども簡単な検定ではないので、グリーゼと協同で事前講義を作成するなど、検定方法

の見直しを行っているところです。

また、WEBライター検定はクラウドワークス内でも活用しています。例えばクライアントからライターの紹介を頼まれたときは、1級2級の合格者を紹介しています。企業からは「とても助かりました」と喜んでいただけるので、私も自信をもって勧めることができるようになりました。

田中:WEBライター検定を周知させるようなイベントも行っています。作って運用して終わりではなく、ワーカーにもクライアントにもWEBライター検定の価値を知ってもらえるよう、取り組んでいます。

WEBライター検定の受検を考えている方にメッセージ



田中 健士郎 氏

まずは合格に向けてがんばっていただきたいですね。同時に、受からなくても学びがあるということを伝えたいです。事前学習講座やフィードバック自体に大きな価値があるので、ぜひ「み

んなのカレッジ」も受講していただきたいです。

検定は、講座を受けた後の力試しという感覚で受けてもらえればと思います。



梅澤 啓太 氏

WEBライター検定の合否に関わらず、根気強くライターを続けていただきたいと思っています。不合格になって諦めてしまった人を何人も見てきましたが、可能性はいくらでもあります。自ら可能性をゼロにするのではなく、何度でも挑戦しスキルをあげることで、仕事を獲得できるようになると思います。



企業概要

社名	株式会社クラウドワークス
設立	2011年11月11日
代表者	代表取締役社長 CEO 吉田 浩一郎
本社	〒150-6006 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー6階
事業内容	クラウドソーシング「クラウドワークス」を中心としたインターネットサービスの運営
企業サイト	https://crowdworks.co.jp

コンテンツマーケティングの強化や コンテンツの内製・品質向上をご検討中の企業様へ

コンテンツ制作チームの
スキルアップをご希望の方におすすめ

**社員研修
(Webマーケティング支援)**



詳しくは上のQRからご覧ください

研修だけでなく
伴走支援もご希望の方におすすめ

**コンテンツマーケティング
内製支援サービス**



紹介資料は上のQRからご覧ください

その他ご相談などあれば、お気軽にお問い合わせください

お問い合わせはこちら

 **03-5201-3033**

 グリーゼ公式サイト

株式会社グリーゼ 公式サイト
<https://gliese.co.jp/>

オウンドメディア  **成功法則!**

コンテンツマーケティングの成功法則!
<https://gliese.co.jp/success/>

 **株式会社グリーゼ**

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 TEL:03-5201-3033
公式サイト:<https://www.gliese.co.jp/>